



リニア新幹線市民講座でトンネル施工技術者の大塚正幸さんの話を聞く人たち=11月24日、名古屋市

リニア中央新幹線調査掘進開始

危険 トンネル工事 強行許すな

「リニアを問う愛知市民ネット」は11月24日名古屋市内で、トンネル施工技術者の大塚正幸氏を迎えて、大深

度・大断面のトンネル工事の危険性について学びあいました。「リニアを問う愛知市民ネット」は11月24日名古屋市内で、トンネル施工技術者の大塚正幸氏を迎えて、大深

「大深度のシールド工法は、高い土水圧や周囲の摩擦に抗するため大きな推力でシールドマシンを進める必要がある。陥没事故のリスクを常にはらんでい

「地山と対話」しながらの作業。「山そのものが粘土で掘っても掘っても土が湧いてきて長さ650m掘るのに18年かかった」鍋立山トンネル（新潟県十日町市、北越急行線）の工事は本当に大変だったと語りました。

「シールド工法」 「シールドマシン」という筒状の機械で横に掘り進め、前進させた直後を筒で支持しながら後方をあらかじめ工場で作った「セグメント」という部品で組み上げる工法。

「シールド工法」 「シールドマシン」という筒状の機械で横に掘り進め、前進させた直後を筒で支持しながら後方をあらかじめ工場で作った「セグメント」という部品で組み上げる工法。

JR東海が推進するリニア中央新幹線の愛知県内の工事は、名古屋工区（名古屋市中区）と坂下西工区（春日井市）からシールド工法による調査掘進が始まっています。名城非常口では調査予定の300mのうち65m地点、坂下西工区では244m地点で止まっています。岐阜県より西尾（さいお）工区ではナトム工法による山岳トンネルの工事が進められています。

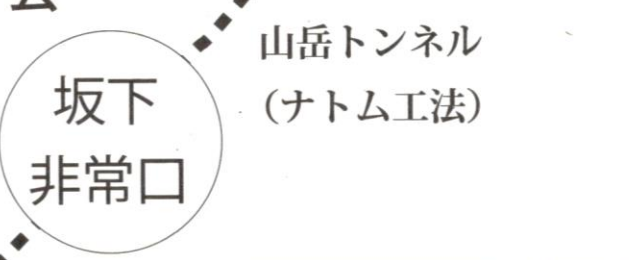
「大深度のシールド工法は、高い土水圧や周囲の摩擦に抗するため大きな推力でシールドマシンを進める必要がある。陥没事故のリスクを常にはらんでい

「地山と対話」しながらの作業。「山そのものが粘土で掘っても掘っても土が湧いてきて長さ650m掘るのに18年かかった」鍋立山トンネル（新潟県十日町市、北越急行線）の工事は本当に大変だったと語りました。

「シールド工法」 「シールドマシン」という筒状の機械で横に掘り進め、前進させた直後を筒で支持しながら後方をあらかじめ工場で作った「セグメント」という部品で組み上げる工法。

「シールド工法」 「シールドマシン」という筒状の機械で横に掘り進め、前進させた直後を筒で支持しながら後方をあらかじめ工場で作った「セグメント」という部品で組み上げる工法。

「シールド工法」 「シールドマシン」という筒状の機械で横に掘り進め、前進させた直後を筒で支持しながら後方をあらかじめ工場で作った「セグメント」という部品で組み上げる工法。



しんぶん赤旗スクープ 学校直下を掘削？

「しんぶん赤旗」11月20日号記事でリニア中央新幹線の大深度トンネルルート上に学校が立地していることが報じられました。写真上はJRが公表しているルート図。【名古屋市】大杉小学校（写真下）、明和高校【春日井市】中部中学校、春日井工科高校、中部大学。

名古屋駅

